



63-288550

Cited Reference No.14 in PCT/IPEA/408

Laid-open Patent Application No. 63-288550 laid open on November 25, 1988

Patent Application No. 62-124259 filed on May 21, 1987

Applicant: Matsushita Denki Sangyo Kabushiki Kaisha

Inventor: T. Shimizu

Title: Telephone Unit

Claim:

1. Telephone unit provided with:  
means for converting the voice signal inputted via a communication channel into character code;  
memory means for storing said character code into memory medium; and  
means for output of the character code of said memory means.

Reference numerals in a drawing figure:

5...character code generating means  
6...character code memory means  
7...character code memory medium  
9...character code reading means  
10...character code output means  
11...character code output part

⑥ 公開特許公報 (A) 昭63-288550

⑦ Int.Cl.  
H 04 M 1/65  
11/00  
⑧ 発明の名称 電話装置  
⑨ 特 願 昭62-124259  
⑩ 出 願 昭62(1987)5月21日  
⑪ 発 明 者 清水 剛 神奈川県横浜市港北区綱島東4丁目3番1号 松下通信工  
業株式会社内  
⑫ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地  
⑬ 代 理 人 井理士 中尾 敏男 外1名  
⑭ 発明の名称 電話装置  
⑮ 特 願 昭62-124259  
⑯ 出 願 昭62(1987)5月21日  
⑰ 発 明 者 清水 剛 神奈川県横浜市港北区綱島東4丁目3番1号 松下通信工  
業株式会社内  
⑱ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地  
⑲ 代 理 人 井理士 中尾 敏男 外1名  
⑳ 発明の名称 電話装置  
㉑ 特 願 昭62-124259  
㉒ 出 願 昭62(1987)5月21日  
㉓ 発 明 者 清水 剛 神奈川県横浜市港北区綱島東4丁目3番1号 松下通信工  
業株式会社内  
㉔ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地  
㉕ 代 理 人 井理士 中尾 敏男 外1名

① 発明の名称 電話装置

② 特 願 昭62-124259

③ 出 願 昭62(1987)5月21日

④ 発 明 者 清水 剛 神奈川県横浜市港北区綱島東4丁目3番1号 松下通信工

業株式会社内

⑤ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地

⑥ 代 理 人 井理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

を有し、記憶媒体としてはカセットテープ(磁気  
テープ)が一般に用いられている。

発明が解決しようとする問題点

しかしながら、上記従来の電話装置では、音声  
信号を記憶するための磁気テープの記憶容量が小  
さい(例えば、最大2時間)ために、記憶する音  
声データ量が限定されるという問題点がある。

本発明は上記問題点に鑑み、多くの音声データ  
を記憶することができ、電話装置を提供すること  
を目的とする。

問題点を解決するための手段  
本発明は、上記問題点を解決するために、通信  
回線を介して入力する音声信号を文字コードに変  
換して記憶するように構成したことを特徴とする。

作 用  
本発明は上記構成により、音声信号を文字コー  
ドの音声データとして記憶することができるため  
に、フロッピディスク、光ディスク、磁等の大容  
量の記憶媒体に記憶することができ、したがって、  
多くの音声データを記憶することができ、

1. 発明の名称

電話装置

2. 特許請求の範囲

(1) 通信回線を介して入力する音声信号を文字コ  
ードに変換する手段と、前記文字コードを記憶  
媒体に記憶する手段と、前記記憶手段の文字コ  
ードを出力する手段とを有する電話装置。

(2) 前記記憶媒体は、フロッピディスクであるこ  
とを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の電  
話装置。

(3) 前記記憶媒体は、光ディスクであることを特  
徴とする特許請求の範囲第1項記載の電話装置。

3. 発明の詳細な説明

発明上の利用分野

本発明は、留守番電話装置等に利用する電話装  
置に関する。

従来の技術

従来、この種の電話装置は、自動着信機能と通  
信回線を介して入力する音声信号を記憶する機能

実 施 例

以下、図面を参照して本発明に係る実施例を説  
明する。図は、本発明に係る電話装置の一実施例  
を示すブロック図であり、通信路系は図示省略さ  
れている。

図において、1は、通信回線を介して入力する  
着信信号(例えば、16Hzの呼び出し信号)を検  
出する着信検出手段、2は、着信検出手段1が着  
信を検出した場合に接続する自動着信制御を行う  
自動着信制御手段、3は、回線の閉路、開放を行  
う回線制御手段、4は、通信回線からの音声信号  
が回線制御手段3を介して入力する音声入力手段  
である。

5は、通信回線から回線制御手段3、音声入力  
手段4を介して入力する音声信号を音声認識して  
文字コードを生成する文字コード生成手段、6は、  
文字コード生成手段5からの文字コードを文字コ  
ード記憶媒体7に記憶するための文字コード記憶  
手段であり、文字コード記憶媒体7は、フロッピ  
ディスクや光ディスク等の大容量の記憶媒体が用

着信検出手段1は、通信回線からの着信を検出  
すると、着信検出信号を自動着信制御手段2に出  
力し、自動着信制御手段2は、回線制御手段3を  
制御することにより回線を閉路する。自動着信制  
御手段2は、次いで音声入力手段4を起動し、引  
き続いて回線を介して入力する音声信号を文字コ  
ード生成手段5に入力させる。

文字コード生成手段5は、音声入力手段5から  
の音声信号を1語ずつ認識して文字コードを生成  
し、文字コード記憶手段6に出力する。文字コー  
ド記憶手段6は、文字コード記憶媒体7を制御し  
て文字コードを記憶する。

次に、文字コードを記憶する場合、入力手段  
8に記憶し出し指示が入力すると、文字コード読み  
出し手段9は、文字コード記憶媒体7の文字コー  
ドを読み出し、文字コード出力手段10は、読み  
出された文字コードを表示手段7等に交換して文  
字コード出力部11に出力させる。

したがって、上記実施例によれば、音声信号を  
文字コードに変換するために、音声データをプロ

いられ、また、文字コード記憶手段6は、フロッ  
ピディスク型記憶装置(FDD)や光ディスク等が用い  
られる。

8は、文字コード記憶媒体7に記憶された文字  
コードを読み出す指示を入力するための入力部、  
9は、入力部8からの読み出し指示により文字コ  
ード記憶媒体7に記憶された文字コードを読み出  
す文字コード読み出し手段、10は、文字コードを  
読み出し手段9により読み出された文字コードを  
文字コード出力部11に出力する文字コード出力  
手段である。

文字コード読み出し手段9は、文字コード記憶  
手段6と同様に、フロッピディスク型記憶装置  
(FDD)や光ディスク等が用いられ、文字コ  
ード出力手段10は、LCD制御回路、CRT制御回  
路、プリンタ制御回路等が用いられ、文字コード  
出力部11は、液晶表示部、CRTディスプレイ、  
プリンタ等が用いられる。

次に、上記構成に係る実施例の動作を、先ず文  
字コードを記憶する場合について説明する。

フロッピディスクや光ディスク等に記憶することがで  
き、したがって、大容量の音声データを記憶し、  
また、読み出すことができる。

また、上記実施例では、通信回線からの音声信  
号をメッセージとして表示、印字することができ  
るために、留守番電話装置の他、会社等の自動受  
付装置等に用いることができる。大容量の音声デー  
タを記憶することができる。

次に、上記実施例では、音声データを文字コー  
ドとして再生するように構成したが、スピーカ等に  
より音声に再生してもよい。

また、上記実施例では、フロッピディスクや光  
ディスク等の記憶媒体に音声データを記憶するよ  
うに構成したが、小容量の半導体メモリをバッフ  
ァとして用い、既に記憶印字するように構成する  
こともでき、簡単な構成で多くの音声データを低  
に記憶することができる。

発明の効果

以上説明したように、本発明は、通信回線を介  
して入力する音声信号を文字コードに変換して記

憶するように構成したので、多くの音声データを記憶することができる。

4. 図面の簡単な説明

図は、本発明に係る電話装置の一実施例を示すブロック図である。

5...文字コード生成手段、6...文字コード記憶手段、7...文字コード記憶媒体、9...文字コード読み出し手段、10...文字コード出力手段、11...文字コード出力部。

代理人の氏名 弁護士 中 尾 敏 男 ほか1名

